

～東京岩代会総会・懇親会が4年ぶりに開催されました～



▲久しぶりに懐かしい顔ぶれが集い、故郷の話に花が咲きました。

八十余名が集い、親睦を深めました

去る十一月五日、上野精養軒で東京岩代会(会長・佐久間哲氏)が開催されました。二本松市からも副市長をはじめ岩代支所長、地域振興課長、岩代連絡会会長、市会議員、行政委員ほか一般参加者に加わり、盛大な会となりました。

◆東京岩代会は、故郷を想う熱い気持ちから誕生しました。

令和五年度東京岩代会は、コロナ禍の休止期間を経て、久々の開催となりました。総会では市長代理の齋藤源次郎副市長が来賓祝辞を述べ、令和四年度の会計報告、新年度の事業計画や予算案等が議決されました。

ちなみに東京岩代会が結成されたのは約三十五年前。関東在住の岩代出身者数名が「故郷、岩代のためにみんなで何かしたい」と同郷の人たちに声をかけたのがきっかけです。令和五年十月現在の会員数は百五十二名。今も立ち上げに関わった初期のメンバーが役員を務めています。

◆総会に続く懇親会では、ビンゴ大会で盛り上がりました。



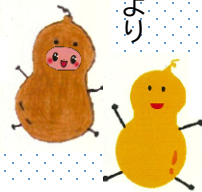
▲参加者全員にふるさとの新米が贈られました。

参加者のテーブルは出身地区毎に分かれ、会話弾む時間になりました。懇親会では、恒例のビンゴ大会を開催。一等に岩代産新米十キロ、二等五キロ、三等二キロ、四等一キロ、そして残りの人全員に五百グラムのお米が会長から贈られました。

かわら版

いわしる

集落支援員だより



東京岩代会の活動を紹介します。 会員募集中です！

東京岩代会の主な4つの活動を紹介します。

- 故郷の人々を招いて親睦会を開催
- 故郷、岩代地域の支援活動を推進
- 役員と会員の合同親睦旅行を開催
- 役員会の開催(年数回)

今までの合同親睦旅行ではバスをチャーターし、東京から1泊2日で岩代地域の各地を訪問しました。小浜城址、宮森城址、杉沢の大杉、合戦場のしだれ桜、道の駅さくらの郷、名目津温泉などを訪れたことがあります。コロナ禍でしばらく開催を見合わせていたので今後は再開する予定です。

<岩代地域の皆さんへお願い>

「東京岩代会では新規会員を募集しています。熟年世代はもちろん、より若い世代の会員も大歓迎です。岩代の皆さん、ご家族や親族、友人など岩代出身で関東在住の方にお心当たりがありましたら、ぜひお声がけをお願いいたします」



東京岩代会会長
東京福島県人会
執行役員・会計理事
佐久間 哲氏

◆全員で「花は咲く♪」を熱唱。故郷を想う時間になりました。

道の駅「さくらの郷」から組合長、駅長をはじめスタッフが参加。販売コーナーが設置され、新鮮な野菜やリンゴ、お餅などが並びました。故郷の野菜や食品を懐かしく感じ、リュックサックに入るだけ購入して下さる方もいて、販売担当の皆さんも大忙しでした。

二本松の酒蔵のお酒もお土産としてふるまわれ、「故郷の日本酒を味わいたい」という会員の皆さんに好評でした。各卓での話が盛り上がる中、時間があっという間に経過。最後は東日本大震災復興支援ソング「花は咲く」を全員で歌い、万歳三唱で締め、散会となりました。



▲福島にちなんだ歌を熱唱しました。

『岩代おじさん図鑑』全国TVに登場

福島県内のラジオ、テレビはもちろん他県でも紹介されている『岩代おじさん図鑑』が去る12月10日(日)午後3:50~4:15 NHK全国放送に登場しました。番組名は「NHK局発!1ミリ革命 みんなでローカルグッド」。テーマは「地域の担い手」。福島県二本松市の他にも富山県や茨城県での取り組みが紹介されました。今後も楽しい話題を提供し、くれそです。

▶QRコードで読み込みできます



右下/『岩代おじさん図鑑』を制作した地域おこし協力隊の有野真由美さんも招待されました。左下/図鑑の表紙を飾った高藤さんにも注目が集まりました。「記念と一緒に写真を撮ってください」という場面もちらほら。



新町野外コンサート・敬老会・大芋煮会が開催されました

集落支援協働事業レポート

去る十一月五日、集落支援協働事業補助金を利用して、小浜の新町集会所前において「新町野外コンサート・敬老会・大芋煮会」が開催されました。



▲晴天に恵まれ、小学生から80代まで約80人が参加しました。

新町では毎年十一月に芋煮会を開催してまいりましたが、コロナ禍により三年ほど開催を見合わせてきました。四年ぶりの開催となる今年「久しぶりにみんなが集まって楽しい時間を過ごしたい」とコンサートも加えた大芋煮会を計画。さらに敬老会も加わり、盛大に開催する運びとなりました。

★★募集中★★

集落支援協働事業補助金（10万円限度）は、集落の維持及び活性化を図るために住民団体が行う事業が対象です。興味のある方は、下記までお問い合わせください。

→岩代支所地域振興課 集落支援員まで
電話 65-2777

↓<大芋煮会>

新町の女性の会の皆さんが大鍋に芋煮とお赤飯を手作りしてくれました。芋煮は味噌味が、野菜や肉、練り物など具たくさんが自慢。新町のみなさんの「乾杯!」の声も弾んでいました。



←<野外コンサート>

関東在住のピアノ奏者水野沙織さんと友人のトランペット奏者が生演奏。クラシックだけでなくアニメの主題歌や演歌など、おなじみの曲も演奏しました。

↓<敬老会>

「おめでとうございます」と75歳以上の方に記念品が手渡されました。



- 「プログラム」
- 開会 町内会長挨拶
 - 招待者挨拶
 - 演奏者紹介
 - コンサート
 - 敬老会開催記念品贈呈
 - お礼の言葉
 - 記念撮影
 - 大芋煮会
 - 芋煮の説明
 - 中締め

～ごみの出し方講座⑤～

～缶のコンテナに入れられるのは飲料用の缶のみ。缶詰の空き缶等は**ピンクの袋(破碎するごみ)**に入れて出してください～

缶類の分別については、下記の通りです。ご協力をお願いします。

- ビール
 - コーヒー
 - ジュース
 - など 飲み物の缶
- ↓
- ＜缶のコンテナ＞
(リサイクル用)
- 缶詰め
 - 油の容器缶
 - 紅茶の缶
 - ペットのえさ缶
 - など 飲み物以外の缶
- ↓
- ＜ピンクの袋＞
(破碎するごみ)

※スタミナドリンクなど瓶類の金属キャップは**ピンクの袋(破碎ごみ)**に出してください。
※空き缶類は水洗い後、つぶさずに出してください。



「ごみの分け方出し方」→ 詳細は右のQRコードから。

午前：講義

公民館2階の会議室でスライド上映と共に講義が行われました。



▲参加者は35名。百目木の「黄金の鳥伝説」も紹介されました。

岩代の歴史シリーズ「両属の将、石川弾正の生涯」を連載中の日下部善己氏が講師を務め、十一月七日に市民講座が開催されました。テーマは「どうする石川弾正、塩松の戦国時代」。午前中は座学で戦国時代を生き抜くための知恵として、当時の武将たちの生き方を解説。皆さん熱心に耳を傾けていました。

午後：現地研修

午後はバスと車の2台で百目木へ。安藤広重作「陸奥安達百目木駅八景園」に描かれた場所を一つずつ巡りました。昔と今では景色が変わってしまいましたが、時代の移り変わりに思いを馳せる時間になりました。

【虚空蔵堂】→ 江戸時代に境内で百目木の名主渡辺半右衛門と広重が出会ったことから、名画が生まれました。

【虚空蔵堂梵鐘】→ 戦時中に消失した鐘は長泉寺護持会によって再建され、朝晩鳴らされています。



←【名目津壇】

石川弾正の墓所があり、毎年、お盆に子孫が参りに訪れるそうです。



【花山公園】→

百目木城の前館跡にあたり、百目木の街を一望する高台にあります。



石川弾正をテーマに市民講座が開催されました